

高橋 彰雄君 BOXに協力

今井 克義君 //

安田 貞夫君 //

卓 話： 石川友意会員

久しぶりの卓話です。私がお話できるのは、ホテルの事しかできませんので、最近のホテル事情を少しお話してみたいと思います。

私が、昭和53年当ホテルに入社した当時は、ホテルと言えば当ホテルと越前屋ホテルさんの2件で、あとは旅館が20件位だったと思います。その頃は、客室はいつも満室でホテルはいい商売だと思っておりました。

新幹線駅が出来てからポツポツと駅周辺にホテルが出来てきて、現在はその頃の客室数の8倍位になっております。景気が上回っている訳でもない中で、現在は旧市街地の当ホテルや越前屋ホテルさんは苦戦をしいられております。旅館も少しづつ減少し、現在は三条旅館組合の会員は旧三条市内で9件になってしまいました。又、ホテルにはいろいろなお客様がお泊りになられる中で、お泊り頂くと困るお客様もいらっしゃいます。そうしたお客様の損害を少しでもくい止める為に、ホテルでUG会と言う組織を作りお互いに情報交換を行なっております。新潟18社・長岡2社・三条4社でやっております。月に5～6件、多いと10数件の情報が上がってきます。主に無銭宿泊が多いのですが、新潟市内に集中しております。当ホテルでも過去に、ヤクザが泊まり難癖をつけたり、ロビーに糞便を落したり、ルームであやしいプレーをしておしっこをしたりと、ございましたが、最近はほとんどありません。

話は変わって、ロイヤルホテルの今までの経緯についてですが、昭和49年創業です。スタート時風紀が乱れるということで、ホテルの建設に地域住民の反対がありましたが、お隣の極楽寺のご住職の藤田説量氏が三条にちゃんとしたホテルがなければいけないということで、社長になって下さってオープンしたと伺いました。創業2年で資金が行きづまり、当時監査役でした岩井先生が、せっかくのホテルを無にしてはいけないということで、株主を集め再スタートしました。岩井先生のもと、業績は向上し株主配当もできるホテルになりましたが、ホテルは15年～20年経つとリニューアルの時期に入ります。それをするには、多額の資金が必要ということで、それをしてもらえる経営者を探し、昭和62年に堀川氏が買収し、スタートしました。堀川社長のもとで、現ホテルのリニューアルか、新ホテル建設かで、結果新ホテルの建設の方向で進み、平成2年に新ホテルに向けて社員教育も兼ね、地場産のレストランを出店致しました。出店当時は、アークランドサカモト様も新社屋竣工パーティーを皮切りに、多くの数百人規模のパーティーをこなし、新しいホテルに向けて着々と準備が進んでおりました。新ホテルの為に各地のホテルを視察し、青写真をつくり、さていよいよ本設計に入ろうとしたところで、バブルがはじけ新ホテルの夢も泡と消えました。残ったのは古いホテルと売り上げに見合わない多くの社員でした。会社というものは、将来の夢や希望がないとダメになるもので、社員も少しづつ減り、売上も落ちて行き、平成7年に赤字を抱え地場産を撤退致しました。そして、経営

改善に努めたのですが、売上の落ち込みは止まらず、平成11年にとうとう資金が回らなくなり、堀川社長が責任を取って退任。私石川が責任をもってこのホテルを再建するという役員会の決定で現在に至っております。

私が引き継いだ時は、多くの借金と取引業者さんへの支払金が残ったマイナスからのスタートでした。ただ、取引業者の皆さんと残って下さった社員の皆さんの協力で何とか現在までやってこれたことを心から感謝しております。又、今まで支えて頂いた多くのお客様にも深く感謝し、数あるホテル・数あるパーティー会場・数ある結婚式場の中で、当ホテルを選んで頂いたことに感謝し、その感謝の想いをどの様にしてお客様にお伝えするかが大切ではないかと思っております。

今後も会員の皆様にはいろいろとお世話になりますが、どうかよろしくお願い申し上げます。

5月のお祝い

誕生日			結婚記念日		
会 員		ご夫人			
丸山 正男	1 3	渕岡 文	3	早川 瀧雄・町子	2
相田 恒彦	3 0	山口 ミチ	1 3	樋口 金占・トシ	4
		斎藤 裕子	2 0	中條 耕二・敦子	5
				大竹 保男・チェ	8
				石丸 孝行・ノリ子	1 2
				坂内 康男・智恵	1 5
				梨木 建夫・三枝子	2 0
				西村 護・智恵子	3 1

